令和５年（2023年）１月31日
区 民 委 員 会 資 料
区民部区民文化国際課

来年度実施を検討している文化・芸術に親しみ、つながりが生まれる機会の創出事業について

区民が身近に気軽に文化・芸術に親しみ、つながりが生まれる機会を創出するため、現在、空きスペースとなっている、なかのZERO本館の旧レストランスペース（以下、「旧レストランスペース」という。）を活用し、区民が自由に創作できる場所として整備するとともに、文化・芸術団体等の作品展示や絵画、造形などを体験できるワークショップなどの事業の実施を検討しており、以下のとおり報告する。

１　区の文化・芸術に係る課題

「中野区文化芸術活動に関する実態調査」によると、区民は、「文化・芸術に触れたり活動することの重要性」について、92.5%が「大切だと思う」と回答している一方、「中野区の文化的環境に満足している」について、「満足している」との回答は16.1%であり、低い水準にある。これに関連し、「最近１年間に行った文化・芸術に関わる活動」について、「特に行ったことはない」は、60.8%であり、その理由については、「行う機会を持てなかったから」（44.0%）が最も多く、区民にとって文化・芸術活動を行う機会が十分ではなく、文化・芸術を通じた交流機会が少ないことが区の文化・芸術に係る課題の一つとなっている。

また、区の文化施設には、子どもがいつでも文化・芸術に触れることができる場所が少ないため、子どもが文化・芸術に親しみ、魅力を感じる機会を創出していく必要がある。

２　課題に対する方向性

（１）文化・芸術団体の活動の場を創出することで活動の活性化を図るとともに、文化・芸術活動を通じた交流を促すことで、区民や文化・芸術団体におけるつながりを生み出す。

【関連する文化芸術振興基本方針（素案）の柱】

「Ⅰ　区民主体の文化・芸術活動の活性化と交流による相互発展を促す」

（２）区民が身近に文化・芸術に触れ、親しむ機会を創出することで区民の心の豊かさを高める。

【関連する文化芸術振興基本方針（素案）の柱】

「Ⅱ　文化・芸術にあふれるまちをつくり、区民の生活の豊かさを高める」

（３）子どもがいつでも文化・芸術に触れるとともに文化・芸術を通じた表現活動ができる場所を整備する。
【関連する文化芸術振興基本方針（素案）の柱】
「Ⅳ　子どもの心の豊かさを育み、次世代へと継承する」

３　旧レストランスペースを活用した取組みについて

文化施設指定管理者が、以下のとおり、事業を実施する（旧レストランスペースの概要は、別紙のとおり）。

（１）中野の多様な文化・芸術に触れ、体験し、交流する機会を充実させるため、マンガ・アニメや伝統文化など、広く文化・芸術に関連する団体と協働しワークショップを実施する。【イベント時】
【主な取組み（予定）】
・オープンに向けた装飾イベント（区民を募集しスペース内に絵を描く）
・絵画、マンガ体験、グラフィックデザイン、メディアアートのワークショップ
・学び場ステーション登録人材による講座
・障害理解を深める多様性を踏まえた作品展示・ワークショップ
・区内大学との連携ワークショップ
・プロ・セミプロによる無料コンサート

（２）本スペースを区民に広く周知するため、ネーミング（愛称）の募集やオープンイベントを実施する。

（３）区民が創作した作品展示や子どもが自由に創作が行えるオープンスペースとして活用する。【常時】

４　今後のスケジュール（予定）

令和５年　４月　　旧レストランスペース整備
　　６月　　オープンイベント、運用開始

別紙

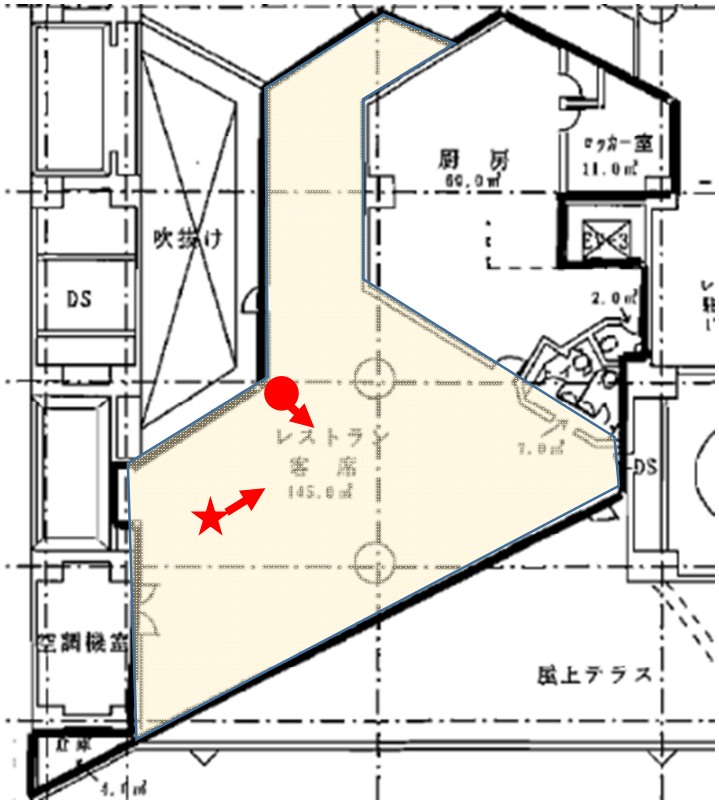
旧レストランスペースの概要

（１）面積

１４５㎡（厨房、地下３階倉庫部分含む場合、２５８㎡）

（２）図面、写真

①図面



②現状の写真

撮影位置：①図面の●

撮影位置：①図面の★